

学校部門 奨励賞

鹿児島県立颯娃高等学校

南九州市

団体の紹介・活動の目的

本校は普通科48名、機械電気科100名の計148名です。普通科は、少人数教育やチームティーチングによる学習で学びを深めつつ、総合的な探究の時間に地域協働活動を行うことで、個々の思考力・判断力・表現力の育成を図るとともに、地域に貢献できる人材の育成を目指しています。

地域と協働しながら生徒が系統的に南九州市の自然や文化、産業(特に颯娃の基幹産業である茶業)について学びを深めること。また生徒が思考力・判断力・表現力を深めつつ、主体的に地域が抱える課題について解決方法を立案し、地域と協働しながら颯娃町の活性化を図り、長期的に南九州市に貢献できる人材の育成、さらに地域活性化のため、有益な情報を対外的に発信できる人材を育成することを目指しています。

連携・協力している団体など

南九州市役所茶業課、市商工会、市内の観光業者、茶の郷プロジェクト委員 など

活動の内容

本校はこれまでの3年間、総合的な探究の時間に「お茶」をテーマとして課題解決学習に取り組んできました。今年度は茶畑見学や茶農家との交流を含めたお茶の研究に加えて、颯娃の観光の可能性についても調査・研究をすることにしました。グループに分かれてそれぞれのテーマを決め、南九州市の観光について研究・紹介しています。その活動を通して地域の魅力を多くの方々に知っていただくとともに、地域が抱える課題の解決に繋がるような活動を行っています。



えいのゴッソイまつりの販売風景

えいのゴッソイまつりでは知覧茶販売のボランティア活動や、知覧茶4種飲み比べセットなどの販売をしました。



お茶の淹れ方講座

お茶農家の方に美味しいお茶の淹れ方を教えていただき、実践しました。



総探発表会

茶業家が抱えるお悩み解決のために自分たちでアイデアを出して、生産者へ向けて発表しました。



茶畑の現地視察

現地視察に行きました。茶畑で摘採機での茶摘みを見学しました。